

# 新羽町の情報発信について

新羽町は、紙とデジタル二つの媒体を利用して情報を発信しています。2011年3月の東日本大震災の経験から、翌2012年10月に新羽町のブログ、facebook、Twitterを開設し、2013年5月からホームページを開設して、地域行事の予定、地域行事の様子（サマーフェスティバルや健民祭、神輿渡御の写真）、新羽町の歴史や役員の紹介など掲載しています。

2022年8月の「nippcho.com」ドメイン取得を契機にサーバをレンタルし、パソコン、スマホ、タブレットで共通のレスポンスWEBデザイン（html5+CSS3）に全面リニューアルしました。なお、好評だった地域の行事写真館は個人情報保護のため、リニューアルを機にメニューから削除しました。

## 新羽町のホームページ（ポータル）

新羽町のホームページ（メニュー）

<https://nippacho.com/index.html>

<https://nippacho.web.fc2.com/index.html>

2013年5月開設⇒2022年8月リニューアル

The screenshot shows the website's main navigation bar with links for Home, Local Organizations, Staff, News, and Contact. Below is a large image of a green field with a QR code overlay. A sidebar on the right lists various news items with dates and titles, such as '【第27回新羽地区ベタンク大会】優勝は「新羽ベタンコ」、準優勝は「中の久保Bチーム」...'.

## 新羽町のブログ

<https://nippacho.blog.fc2.com/>

2012年10月12日開設

The screenshot shows the blog's header with the title '新羽町大好き' and a QR code. The main content area features a post about the '【第27回新羽地区ベタンク大会】' with a photo of a blue sky and clouds. A sidebar on the right contains a 'プロフィール' section and a '最新記事' section.

## 新羽町のTwitter

[https://twitter.com/nippa\\_cho](https://twitter.com/nippa_cho)

2012年10月8日開設

The screenshot shows the Twitter profile for '新羽町 (横浜市港北区)'. It includes the profile picture, bio, and a list of tweets. A QR code is visible in the top right corner.

## 新羽町のfacebook

<https://www.facebook.com/nippacho>

2012年10月13日開設

The screenshot shows the Facebook page for '横浜市港北区新羽町'. It features a large photo of a group of people, the profile picture, and various posts and advertisements.

## 新羽町のイベントカレンダー

コロナ禍でイベントがなく、2020年から休刊中で、新羽地域ケアプラザで発行している「新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス つうしん」にて地域のイベント情報が紹介されています。

The screenshot shows a page from the 'つうしん' community magazine. It features a colorful header with the title 'つうしん 9月号' and several articles with photos, including one about a festival and another about a community event.

## <参考：インターネットを利用した新羽町情報発信の経緯>

※ 新羽町の年表から抜粋

※ <https://nippacho.com/pdf/nippahistory.pdf>

### 平成18(2006)年

10月1日 塩山良三連合町内会長（新羽町自治会長）のとき、新羽町自治会、新羽地区体育指導委員連絡協議会でgooブログを開設しインターネットを利用した地域の情報発信について試行はじめる。

### 平成20(2008)年

3月31日 塩山良三氏 連合町内会長を退任  
4月1日 中山幹夫氏 連合町内会長に就任

### 平成21(2009)年

4月1日 新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長に新羽町自治会の小松賢吉が就任  
5月1日 google、yahooで新羽町のアカウントを取得し、地域行事の予定についてカレンダーでの共有を試行開始  
10月1日 第36回新羽地区健民祭実施を機に、中山幹夫連合町内会長よりインターネットを使った新羽地区の情報発信ができないか検討するようスポーツ推進委員連絡協議会会長、書記に要請。  
12月1日 新羽町自治会で実施していたgooブログに新羽地区全域の情報を掲載して連合町内会としてデジタルコンテンツによる情報発信試行開始。

### 平成22(2010)年

6月1日 新羽町のメールアドレスを取得して、e-mailによる情報の共有を開始。  
9月1日 より充実した情報発信及び高齢者も利用できるような仕組みがないか検討するようスポーツ推進委員連絡協議会書記に指示。

### 平成23(2011)年

3月11日 東日本大震災発生  
4月1日 第2期港北区地域福祉保健計画開始  
10月20日 自然災害の発生において、SNSが情報の伝達や復旧において有効であったことから、ICT技術を利用した地域の情報発信について再検討するよう中山幹夫連合町内会長より新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長に指示があり調査を開始。  
11月10日 震災後、担当者（スポ進会長）は、計画停電の実施などで事業の運営において多忙であったことから、SNSによる情報発信を先行させ、ホームページの開設については当面の間延期することとした

### 平成24(2012)年

2月1日 中高年世代を中心にfacebookの利用者が増え、Twitterの利用者も増大。新羽町の公式コンテンツとして発信できるようgooブログを再構築するとともに、新たに利用できるサービスについて調査開始。  
3月1日 自治体などのSNSの利用状況について調査実施。SNSの公式アカウントを取得して情報発信する公共団体が順次増えてきたことを確認できたことから、新羽町として公式アカウントの取得について検討始める。  
10月8日 新羽町のTwitter開設  
10月12日 新羽町のブログ開設 gooブログからFC2ブログへ移行  
10月13日 新羽町のfacebook開設  
12月1日 新羽町のホームページ制作開始

### 平成25(2013)年

2月14日 中山幹夫連合町内会会長にホームページの試案を提示。情報発信については、新羽町連合町内会事務局として発信することとした。（新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長としてホームページの情報については連合町内会の事務局として担当することとなる。）  
3月31日 中山幹夫氏 連合町内会長を退任  
4月1日 大谷佐一氏 連合町内会長に就任

## 平成25(2013)年

- 5月6日 新羽町のホームページを開設  
※主に、ブログ、新羽町SNS (facebook、Twitter)、横浜市や港北区コンテンツへのリンクなど、ポータルとしての機能  
**<開設当初の独自コンテンツ>**  
○地域活動豆知識 (長澤茂初代連合町内会長、中山幹夫元連合町内会長の教えを記事にしたもの)  
○新羽地区行事予定 (PDF)  
※機部会長が学校の行事と地域の行事をまとめていたものを引き継いだもの  
○新羽町の年表 (PDF)  
※新羽地区健民祭の優勝町会などを第1回大会から調査するよう指示があったことをきっかけに作成したもの
- 6月1日 サマーフェスティバル、新羽地区健民祭の開催に関する情報をSNSで発信

## 平成26(2014)年

- 4月1日 新羽地区青少年指導員協議会会長に新羽町自治会の豊岡修氏が就任。新羽町のfacebookをはじめとしたSNSの更新を担当。
- 6月1日 新羽地域ケアプラザのホームページ開設を機に、新羽町ホームページに新羽地区ケアプラザ、神輿会など関係団体へのリンクを掲出

## 平成27(2015)年

- 4月1日 新羽町ホームページに独自コンテンツとして新羽町連合町内会役員の紹介を掲出
- 5月1日 新羽町ホームページに地域で活動する委員、団体の紹介を掲出 (消防団、民生児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員など)

## 平成28(2016)年

- 3月31日 第2期港北区地域福祉保健計画終了
- 4月1日 第3期港北区地域福祉保健計画開始
- 5月27日 情報発信部会において、紙媒体による「地域イベントカレンダー」とホームページ等ICTを使ったデジタルによる情報発信を活動の2翼として推進することが決定。併せて、ICTに詳しい方、写真撮影ができる方など部会員を公募することとなった。
- 4月6日 「港北区自治会町内会活動のしおり」の改訂を機に新羽町ホームページに掲載 港北区連合町内会へリンク

## 平成29(2017)年

## 平成30(2018)年

- 3月31日 大谷佐一氏 連合町内会長を退任
- 4月1日 松村清見氏 連合町内会長に就任

## 平成31(2019)年

- 7月25日 港北区制80周年新横浜花火大会を第3期新羽地区福祉保健計画(ひっとプラン)情報発信部会としてケアプラザと合同取材を実施。新羽町ホームページに記事を掲載。

## 令和2(2020)年

コロナ禍のため、新羽サマーフェスティバル、合同敬老の集い、新羽地区健民祭、ほか地域行事の中止等の予定についてホームページ、SNSを使って常時情報発信するも、地域活動が実施されないため情報発信は休止状態となる。

## 令和3(2021)年

- 3月31日 松村清見氏 連合町内会長を退任
- 4月1日 尾出清和氏 連合町内会長に就任
- 6月5日 新羽町連合町内会IT化検討  
※パソコン・スマートフォンを使っての連合町内会や各町会での情報共有、会議など
- 6月20日 コロナ禍のなか、スマートフォンによるホームページ閲覧が主になっている状況を鑑みて、新羽町ホームページをレスポンシブルWEBデザインへの改修を開始
- 9月13日 新羽町ホームページにて、新型コロナウイルスワクチンについて情報発信開始
- 9月20日 祝敬老の日 新羽町自治会副会長 豊岡修氏によるLINE、ZOOM講習会実施  
※新羽地域ケアプラザの協力

## 令和4(2022)年

- 5月18日 新羽町のドメインを取得できないか、情報発信部会に要請。
- 6月1日 新羽町ホームページをレスポンシブルWEBデザインに全面改修
- 8月19日 ドメイン取得 nippacho.com (町内のデザイン事務所がスポンサー)
- 8月27日 第1回 第4期新羽地区福祉保健計画推進委員会全体会  
情報部会は第3期の活動は引き継いでいないことが明らかとなる。  
※メンバーより、これまでの新羽町のICTコンテンツ及び地域イベントカレンダーの発行には関わらないことを条件として活動している旨の発言。
- 9月1日 FC2レンタルサーバーLite契約 (町内のデザイン事務所がスポンサー)  
無料サービスからコンテンツを移行
- 9月15日 無料サービスコンテンツはバックアップサーバーとし、トップページへアクセスした場合は、nippacho.comに自動遷移する仕組みとする
- 9月19日 祝敬老の日 新羽町自治会副会長 豊岡修氏によるLINE、ZOOM講習会実施  
※新羽地域ケアプラザの協力
- 9月25日 ひっとプラン情報部会実施 (新羽町内会館)  
⇒第4期の活動について話し合いを実施
- 現行ICTコンテンツの維持管理には、情報部会では一切関わらないことを条件に前部会長より引き継いだこと。
  - 情報部会のメンバーは新羽町町内会とクリオ新横浜北自治会のみで構成していること。
  - 現行ICTコンテンツの更新はできないが、リンクするなど情報の共有はしていく。
- 以上3点についてメンバーより強い主張。
- ⇒ 情報部会メンバーのスキルと区役所より補助金を得てホームページコンテンツを制作中であるという状況を鑑みて、当面はホームページの制作に専念した方がよいと判断したことを尾出連合町内会長に報告。  
これまで、第3期ひっとプラン情報発信部会で維持してきた新羽町のICTコンテンツは、状況が整理されるまで(当面の間)新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会にて維持することとする。

## 令和5(2023)年

- 5月18日 現行ICTコンテンツの維持管理を行っている新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長が令和5年3月31日をもって退任され、スポーツ推進委員連絡協議会にてコンテンツを維持することが困難となったことから、コンテンツの維持について新羽町情報共有グループLINEにて相談。  
尾出連合町内会長より、これまでの経緯を鑑みて、新羽町ホームページ、SNSについては引き続きコンテンツの維持管理を担当するよう新羽町自治会の小松氏に要請。  
小松氏受諾。  
(新羽町情報共有グループLINE: 尾出連合町内会長、大森スポーツ推進委員連絡協議会会長、豊岡青少年指導員協議会会長、斉藤中の久保町内会長、奥山新羽中学校文化スポーツクラブ会長、長澤新羽小学校文化スポーツクラブ会長)